

HAND in HAND

はんど・いん・はんど

【援助交際と児童買春を考える】

■先日、国会で成立した児童買（かい）春児童ポルノ処罰法は、政府（つまり官僚）が作る法案がほとんどの中で、超党派の議員の努力で議員立法として成立させたもので、私は衆参で答弁に立ちました。これは、18才未満の子どもを買って性交や性交類似行為をした大人を処罰するという画期的なもので、国内だけでなく、東南アジア等国外で子どもを買った人間も取り締まれます。子ども買春は、子どもへの性的搾取・虐待であり、人権侵害以外の何ものでもないということを、広く大人に認識してもらいたいと思っています。

■この法案の作成中、女性の政治参加を促進する目的で6年前から開校している女性のための政治スクールが地方でも開かれることになり出かけました。そこでこんな話を聞いたのです。

■成績優秀・生徒会活動部活動にも積極的な中3の女の子が妊娠し、相手は両方の親もよく知っていた同級生の男の子で、親はひどいショックを受け中絶させたという話です。この日、偶然読んだJapan Timesには、高校卒業のダンスパーティで産気づいてトイレで産み落とし、ゴミ袋に胎児を入れて捨てたアメリカの少女が、数年後の裁判で確か16年の有期懲役刑の判決を受けた記事が載っていました。

■愛しあっているならば、中高生でも性交渉をしていいという考えがはびこっているようですが、経済的自立と親になる責任を持たない時の妊娠や中絶がどれだけ心を傷つけるか、そのことを、愛しあっているなら二人でしっかり話あうべきであり、互いを大切に思うなら、性欲をコントロールすべきではないでしょうか。

■愛情もないのに、援助交際などという名のもとに、子どもを買う大人がいるなんて情無い限りで、今度の法律はそんな大人を罰することができるのですが、子どもたちにもしっかりと気づいてもらいたいと思います。自分の性を売るとは自らの人権を売り渡すことであり、自らの人権は自ら守る、それが人間だということを。（円より子）

11. 6. 30

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

187

第187号 600円 禁無断転載
【発行日】1999年7月1日
【発行所】現代家族問題研究所
【連絡先】〒102-0082 千代田区一番町4-6 一番町中央ビル2F
TEL : 03-3261-1835 (分室)
FAX : 03-3261-1836
ホームページ <http://www.madoka.nu/>
【発行・編集人】円 より子
【スタッフ】向井通江 橋本由実
【印刷】(株)日出島

性犯罪等の現状と警察の対策推進状況について

―夫からの暴力にNOを―

板谷利加子氏（神奈川県警性犯罪捜査係長）

（99年5月29日（土）、第211回ニコニコ離婚講座より）

●警察のイメージは？

最初に皆さんに警察のイメージを伺いたいと思います。「警察は怖い」というイメージをお持ちの方は手を挙げて下さい。「警察は威圧的、威張っている」という方は「警察は冷たい、事務的」という方は多いですね。それでは反対に、「警察はとても親切で優しい」という方は。お二人ですか。「警察は非常に丁寧」という方。やはりお二人ですね。警察に対するイメージは非常に悪く、私は警察に25年勤めています、いろいろな講演に行っている、どこでも同じような答えが返ってきます。

●性犯罪捜査係の仕事について

警察庁が「日本の警察は検挙率は世界一を誇り、非常に安全な国と言われるが、被害者への支援は、諸外国と比べ非常に遅れている」と、平成8年3月から全国の警察を挙げて被害者への支援活動を重点的に行うことにしました。特に

性犯罪、レイプの被害を受けた女性が、深刻で声を上げにくい、警察に届けられないということから、性犯罪捜査係ができたのです。

神奈川県警では、私以下3名の婦人警察官が担当する、「性犯罪被害110番」という相談電話を設けました。初めの予想は、レイプや性暴力の被害者からの相談が集まると思っていたのですが、性犯罪だけでなく、男女間のトラブル、あるいはドメスティック・バイオレンスと言われるような夫婦間暴力、身近な恋人からの暴力という、間口の広い相談になってしまっていました。

●警察の対応について

20、30年前は、警察には「民事不介入」という大原則があり、家族や夫婦の問題については介入してはいけないと、私達も徹底的に教育を受けてきました。

ところが10年前から、警察も変わってきて、例えば夫婦間の暴力

も民事問題であるけれども、本当に被害者が、「急迫不正な侵害」、目に迫った傷害事件、暴行事件に巻き込まれるような緊急事態があれば、警察も入って問題を解決していかなければならないという姿勢に変わってきました。特に今年の3月31日に警察庁から通達があり、「夫婦間暴力についても、警察は積極的に介入するように」という指示が出ています。ようやく社会的な問題になってきたのです。

男女共同参画社会、男女が共同して参画していくという、国の大きな取り組みが掲げられるようになったため、女性が社会に進出しやすい、社会の中で公平に生活していくためには、女性が不利益を被ってきた、女性が働きづらい社会環境や家庭の問題等を、フォローアップしていくという考え方が、警察の中にも浸透してきたと思います。

●裁判を維持することの難しさ

夫婦間の暴力で、110番通報があると、現場に行き、まずご夫婦を引き離します。それぞれ別々に事情聴取をして、被害者の意思を尊重しなければならぬのですが、長年に渡る暴力に耐えられず、奥さんから離婚を前提に夫を訴え

るという申し出があった時、警察ではきちんと事件として扱います。被害届の出た段階で、警察はご主人を逮捕します。逮捕すると、今度は検察庁に事件を送致します。検察庁では、事件を再捜査して、裁判を起こすか、あるいは裁判を起こさないで不起訴や執行猶予とするか検討します。

裁判の段階で問題となるのは、裁判が維持できないということ。ご主人側は「夫婦なんだから言っただけで妻も承知していることだし、夫婦間なんだから、堪え忍ぶ関係を法律で守られている」と主張すると思います。今度は奥さんが反撃しなければなりません。「これは私が認めた暴力ではありません。暴力は絶対にいけないはずですよ」と。裁判は1回では終わらず、だいたいの10回位、1年近く掛かるのですが、この間に奥さんが精神的にまいってしまいます。裁判への呼出しや裁判所での夫とのやりとりのなかで、疲れてしまう。エネルギーを消耗してしまい、もう結構ですと、取り下げてしまう。

また、証人を呼ぶ段階になると、お子さんや同居している家族、親

族が呼ばれてくる。当事者だけでは終わらず、親族を巻き込む裁判になっていくので、非常に精神的な負担が重くなってきました。」とにかく私が身の安全を確保して、夫から逃げられればいい」と、事件を断念せざるを得ないという状況がままあります。

何が問題なのか、追いつめられた被害者を支援するためにはどうしたらいいのかを考えると、警察の支援だけでは限界を感じます。法の整備や、裁判制度の、身内の犯行について声を上げやすい社会に向けての改革が必要となってきたのではないかと、実務を通して感じています。

●なぜ性犯罪被害を警察に届けられないのか

レイプや性犯罪の被害にあった時、なぜ警察に行けないのか。直接被害者からお話を聞いたのですが、理由が3つあります。

1つ目は、噂が怖いということ。噂には社会の偏見もあります。レイプ神話や「レイプされた女性は汚い」という強いイメージが、日本の社会にはびこっています。レイプされた女性には落ち度は何もありません。真面目に生きていた

人が、ある日突然悲惨な事件に巻き込まれてしまう。被害者は、自分が汚れてしまったと噂が広がることに非常に抵抗を持っています。

男子学生と話す機会があり、恋人にレイプされたと打ち明けられたら、彼女に対して感情が変わるかどうか聞いてみると、9割の方が、「変わる」と手を挙げました。これが日本の現状です。

2つ目は、捜査や裁判への不安。届け出たらどうなるのか。警察で聞かれたくないことまで踏み込まれるのではないかと。2次被害、3次被害という言葉がありますが、そういう被害を受けてしまうのではないかと不安。また、裁判のイメージは、テレビでご覧になっている通り、被害者と犯人が向かい合っているのしり合う場面が頭の中にはびこっていると思います。

3つ目は、仕返しに怖いということ。2日前の新聞に「逆恨み殺人に無期懲役」という大きな見出しが出ましたね。被害者が非常に勇気を持って届け出たのにも関わらず、犯人が出所してきて2か月に、彼女を探し出して殺してしまったという事件ですが、この犯人は特別です。彼は以前にも女性

を殺していて、2人目の殺人なのです。こういうニュースをマスコミが大きく取り上げるので、皆さんはテレビを見て、「届け出たら、仕返しされて殺されてしまうんだ」と思ってしまうのです。

この大きな3つの理由によって、声を上げることもなく、うずくまってしまう。警察庁では「再被害防止」ということで、届け出をした被害者に対して、将来不安であればきちんと被害者を保護するという体制を強化していますので、そういうご心配はなさらないようにと、お願いしたいと思っています。

●夫婦間暴力にも、3つの理由が関係している

噂が怖いということは、夫婦間暴力で苦しむ方のご主人は、意外と地位のある場合が多く、非常に世間体を気にします。近所だけでなく、会社にも話が広まってしまいうと、声を上げることができない。それからご主人を訴えることは、

刑務所に入れることもあり得ると覚悟して頂かないといけません。警察で捕まえると、事件として検察庁へ送ります。夫を刑務所に入れることを視野に入れて、警察を呼ぶ方は非常に少ないと思います。

そして、仕返しですが、これは夫婦だけの問題に終わらない。やはり家族や親族、いろいろな関係者に広がり、問題が大きくなってしまいうことで、声を上げにくくなっています。

●夫婦間暴力問題へのアドバイス
夫婦間暴力だけでなく、セクハラやストーカーの問題も同じですが、女性の側にアドバイスすることを、いくつかお話しします。

初歩的な段階では、毅然とした意思表示をすること。NOとはっきり言ったかどうか尋ねると、NOと言っていない。拒絶することからくる軋轢を先に考えてしまい、曖昧にして、我慢してしまう。それで、助長されてしまうのです。

それから、周囲に知らせること。親しい友人や家族など周りに打ち明ける、つまり証人や協力者を作るということです。仲裁に入る場合も、突然呼ばれた場合、状況がわからず、誤った判断をしてしまいます。相談をしていけば、「奥さんはこの暴力に長年耐えていたんですよ」「非人間的なことですよ」と、仲裁してもらう意味でも、証言をしてもらう意味でも、早い段階で相談して頂きたい。

それから加害者にストップをかける意味もあります。これは性犯罪にも言えることですが、加害者の心理からすると、「絶対訴えるわけがない」、「自分の恥をさらけ出すことだから、警察に届け出るわけがない」と、被害者の心理を見越して行っています。夫婦間の暴力でも、妻が自分の立場や家族のことを考え、訴えるわけがないと見越しているわけです。そうじゃないと、今はこういう暴力を許さない社会になってきていると知らしめるためにも、加害者へストップをかけるという意味でも、相談をしていくことは大事です。

もう一つ相談をする意味で大事なことは、人に話す、声を上げるといったことは暴力を受けている被害者の心理的に良いことなんです。被害者に伺ったのですが、「ただ聞いてくれるだけでいい」「聞いてくれるだけで楽になる」と。そういう心理的作用があるのです。

3つ目に適切な相談窓口を見つけること。きちんとした相談窓口で、継続して相談を受け、考えをきちんと整理していくこと。

そして大事なことはこの経緯を必ず記録化していくことです。日

記帳でもいいのですが、大学ノートを一冊決めて、記録していく。最終的に、警察や弁護士に相談する段階になった時、最初からのいきさつを全て話すというのは、大変困難な作業ですから、記録しておく、ノートを見せることで相談がスムーズに運びますから、時間の短縮になります。弁護士は相談料がかかるので、時間の短縮は、料金の短縮にもなります。

その記録を、相手に見えるように置いておくようアドバイスすることもあります。それは「声を上げようとしている」という警告になります。「夫婦間の問題なんだから、暴力振るおう」といいじゃないか」という安易な発想でいたのに、妻がきちんと暴力の記録をつけていた。「どこへ相談にいくのか」と、警告になりますから、記録は非常に大事です。

警察にとっても、事件にする場合に貴重な証拠となります。ケガをしたら、ためらわず病院へ行きましょう。病院へ行けば理由を説明しなければいけないと、耐えている人がいますが、医師には守秘義務があるので、信頼して下さい。診断書を書いてもらえます。打ち

身でも内出血ですから、治るのに3日はかかり、診断書が取れ、傷害罪になります。記録を残す。これは第三者の証言になります。家族以外の友人や同僚などの証言も必要なのです。

●警察に通報する場合は注文を

警察に通報する場合、近所の目が気になると思いますが、そういう場合は、「パトカーで来ないで」「制服の警察官はやめて」「女性の警察官がいれば、周りにわからないように来て」ときちんと注文して下さい。どこの警察にも女性の警察官が配置されていて、普通の服装で行きますし、あるいは、男性の警察官でないと暴力が抑えられないなら、男性の警察官が普通の服装で飛んで行きますから。

奥さんが保護を求める場合は、一時保護をします。警察は公共機関と連携していますから、婦人相談所へ連絡し、そこまできちんと送って行きます。緊急の場合だけでなく「夫が会社にいる間に、子どもを連れて逃げたい」ということでも、婦人相談所で保護します。

●警察を利用して夫婦の関係を調整することもできる

以前相談を受けたケースですが、

奥さんから話を聞いた後、ご主人からも話を聞こうと、電話を掛けてもらうよう伝え、ご主人から電話を頂きました。ご主人はまさか、奥さんが警察に相談すると思っていなかった。そして、私が奥さんの友人としてお話を伺いたいと言うと、素直に話し始め、後日夫婦で仲良く旅行に行くようになったケースもありました。

警察に友人として夫婦の問題に介入してもらう。また、警察からの電話というインパクト。一方的に暴力を受けたら、奥さんも黙ってはいない、声を上げると言うインパクトを与えることができます。こういう警察の利用の仕方もあると思いますので、ご相談下さい。

神奈川県警「性犯罪被害110番」

045-681-0110



板谷利加子著「御直披」

角川書店 定価一、二〇〇円(税別)。
性犯罪に立ち向かった被害者と、彼女を支えた著者との交流を描いたノンフィクション。

「離婚の法律と手続き」

金住典子氏（弁護士）

1999年5月29日（土）ニコニコ離婚講座 第2部より

今回は、2部でも夫からの暴力についての質問が多かったので、いくつかご紹介いたします。

金住弁護士 以前は、殴る、蹴るという有形の暴力しかわかってもらえない、心の傷はわかってもらえないと、訴えても負けると、最初から諦めざるを得ない状況にありました。最近になってようやく、暴力問題についての認識が高まってきて、精神的暴力についても、問題視されるようになりました。

Aさん 1月に夜中に暴力を振るわれ、5歳と7歳の娘を連れて、実家も遠く、帰るところがありませんでした。その後一度実家に帰りましたが、当てにできず、仕方なく戻ってきました。

夫の実家は資産家で、子どもの学校のことを考えると、夫に家を出ていってほしい。経済力をつけて、いずれ離婚をしたいと思っていますが、専業主婦の場合、何から手をつけられないのでしょうか。金住「専業主婦の場合」でも、ケース・バイ・ケースで、一概に

言えません。子どものことを考えると、夫に出ていって欲しいとい

っても、それは願望。「俺が出てやるよ」という夫もいれば、暴力的で聞く耳を持たない夫もいます。

大事なことは何を優先するかです。自立の準備をして、資格の一つも取ったところで、離婚といきた準備してられない場合もあります。そういう場合何を優先するか。それは「命」や「健康」です。「健康」の中には、単に病気をしたかどうかではなく、日々暴力にさらされて、妻も子どもも生きた心地がしない、パニック状態にある。そういう場合には、命があつて、健康があつて、まず生きられることが優先されます。

例えば、実家に帰って安心して子どもと暮らして、次に離婚のステップへ進むとか。あなたにとつての優先順位を、お考えになることが大事です。

Bさん 離婚したいと思っているのですが、夫がある宗教に入っていて、普通の会話ができません。私

も仕事をしていますが、日曜日にお祭りを開くので休めず、また自分が正しいと、宗教を強要します。どうすればいいのでしょうか。

金住 宗教の中に逃げ込むことでバリアをはり、自分の存在証明をする。「自分は正しいんだ、あなた達は間違っている」という硬直性。そのことで夫婦のコミュニケーションがとれない。宗教団体が故人のプライバシーにまで入り込めば、宗教団体との問題ですが、夫婦間では、コミュニケーションが取れなくなる要素の一つだと捉えた方がいいと思います。

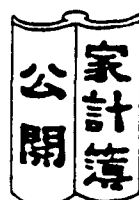
裁判では、民法770条の「その他婚姻を継続しがたい事由」と認められます。自分は絶対的に正しいんだということで、妻を見下し、「もう少し高い精神を持て」という、それ自体暴力です。個人個人の信条の自由があり、夫でも、親でも強要できない。押し付ける行為自体が暴力なのです。反対に相手に変わることを望み、強要することは、相手に暴力を振るい始めていることになります。

苦痛を感じて、自分を大事にしたいと思ったら、その苦痛から逃げる。離婚問題では、別居とい

うことになります。それは間違っていないと確信を持って下さい。Cさん 気に入らないことがあると乱暴な言葉で罵倒したり、具合が悪くて寝ていてものしったりというように、有形の暴力がない場合では、調停になっても離婚が決まらないのでしょうか。

金住 精神的な暴力は離婚理由にならないと思いますが、女性が結構いますが、離婚理由になりません。けれども日本では、有形の暴力についても慰謝料は低いですが、精神的暴力についてはもっと低い。ただ、裁判官が夫の方が悪いと思えば、財産分与や養育費を決める時に同情が働くので、その分有利になると思っています。

精神的な暴力の一要素として、女性が夫を立てて、常に受け身になって、結婚にしがみついている。相手がいかに言っても聞き流して欲しい。長い間修復がきかなくなつた夫婦は、別居から離婚をして人生を立て直す。これから結婚する、あるいはそこまで至っていない夫婦は、負けない強さを鍛えて欲しいと思います。



第122回 大分 Uさん

〔家族構成〕

私 46歳(病院事務)

長男 18歳(求職中)

長女 16歳(高校2年)

〔住居〕

一戸建て(3LDK)

★

隣の部屋で息子がミシンを踏んでいます。我が家では日常的な風景です。高校に入った頃から、自分でデザインして洋服作りをしていました。学校に行くのをやめていたときも洋服作りに夢中になっていました。「学校へ行くくらいなら、洋服を作っている方がよほど充実している。それ程今の学校はつまらなく、くだらない、先生たちは何もわかっていない。ただ皆をうまくまとめようとしているだけだ」。

彼の言葉は私の心に響き、覚悟が決まりました。彼の安心できる居場所を確保すること、そんな彼を黙って見守ることが大事だと思いました。

でも彼はどんなことがあっても卒業証書だけは手に入れたかったみたいで、彼なりの努力をしたのか、一人だけの卒業式でしたが、一応高校の卒業証書は頂きました。ただ今、彼はフリーです。

私も自分の将来について考える時間がほしい！ 安定した収入はあるけれど、自分の時間は少なく体がキツイ。何よりもやった仕事に対して充実感がなく、徒労感が残るだけ。淋しいな……。6月25日の東京の会合「ハンドで仕事を作り出そう」に参加したい！

ある日の朝、娘が食卓に座って、私をじっと見つめて「生きがい欲しい……。お母さんの生きがいは何？」と聞くのです。私は頭の中で、仕事が生きがいでもないし、かと言って趣味があるわけでもないし……。ふと娘の顔を見ると目から涙がポロポロ溢れているのです。「生きがい欲しい……」と呟いて、泣いているのです。娘をしつかりと抱きしめて「よしよし、辛いねー。いいよ、いいよ」と泣き止むまで背中をさすって抱きしめていました。

彼女は高校2年生になって、学校に行くのをやめました。学校に

行かない兄を見ていた時は、ただ怠けているくらいにしか思わなかったのが、今では兄は良き相談相手となっているのです。

彼女は週3日位、近くのスーパーにレジのアルバイトに出かけています。私は二人を見守りながら、離婚してがむしゃらに走り続けてきたこの15年間を振り返りました。1歳と3歳の子どもを抱えて、不安と見えない恐怖と孤独に怯えながら、前だけをみて走り続けることで、「何か」が解決したような気持ちになっていたのです。しかし、何も解決していませんでした。

この1年間カウンセリングを通して、自分の内面への旅を続けることで、命の源である親との関わり

りや、わが子との関わりが見えてきました。

自然が一番いいのだと思います。ようやく力が抜けて楽な生き方ができそうです。田舎は山や緑が多く、気持ちが癒されます。

離婚後の5年間は、パートを2つ掛け持ちしていましたが、大分に帰ってから、今の病院事務に移り、給料は10年間働き続けて、これ位です。夫からの送金はありませんが、大分に帰る時、今後一切関わらないという約束で、200万円をもらいました。

電話代は遠距離に掛けることが多いのですが、これまで頑張った分、少しは生活を楽しめるようにしたいと思います。

家計簿内訳

(1999年5月分)

〔収入〕

給与(手取り)	170,000円
児童扶養手当	33,000円
計	203,000円

〔支出〕

食費	50,000円
水道光熱費	25,000円
電話代	50,000円
車(ガソリン、高速代)	20,000円
新聞代	3,800円
交際費	10,000円
保険料	30,000円
雑費	20,000円
計	208,800円

※不足分はボーナスで補充

母子寮とはこんなところですよ

「元気になるまでの、生活が安定するまでの
足がかりに、利用してみませんか」

K・Tさん(東京・37歳)

子どもを2人連れ、離婚して2か月。地方から上京し、現在東京の母子寮(正式名称は母子生活支援施設)に住んでいます。広くてなかなか住み心地が良く、皆さんの参考にと、ご紹介します。

母子寮というと、暗いイメージをお持ちの方が多いと思いますが、私の住んでいる所は、鉄筋コンクリート6階建て、築2年、冷暖房完備、エレベーター付きで、6畳・4・5畳、DK、バストイレ付きの2DK。入所定員の20世帯に対して職員が8名いて、24時間体制。カウンセリング機能を備えていて、保育体制も整い、大助かりです。

離婚して立てはとも情緒不安定になりやすいのですが、事務所に行くと、常時話し相手になってくれます。複雑な内容の場合は、相談室で寮長が聞いて下さいます。子どもが、学校関係で問題があると、学校にも出向いてくれます(地域の学校とも連携の体制ができています)。その対応の仕方が押

しつづけてましくなく、おおらかで、ほっとさせられます。

保育体制については、子どもの遊ぶスペースがあり、一般の地域では既に失われつつある年齢の縦割りの遊び社会があります。常時職員がいて、集会室、屋上、学習室等、別のスペースも職員の参加があれば使用できます。母親が残業等で保育園の迎えが遅くなりそうなきも、職員が迎えに行ってくれて、母親が帰宅するまで保育してくれまます。また、病児保育もしてくれまます。

部外者は勝手に入って来れないので、施設の中でのトラブルの心配もなく、3歳になったばかりの娘もエレベーターを使い、自由に遊び回っています。上の子どもが急性盲腸炎で夜中に手術した際も、下の子を預かってもらい助かりました。

この辺りで同じような2DKを借りると、家賃が月20万円位掛かるのですが、私の場合は無料です。

前年度の所得によるそうですが、年収400万円の人でも月8000円位と聞いています。

私は市区町村の母子相談員に相談しました。離婚に際し、いろいろな所に相談するといろいろな情報が入ってきます。でも、1、2度や1、2か所の相談で、思ったような答が得られなくてもあきらめないことです。何百万の貯金があると母子寮には入れない。住民票がないと母子寮も学校、国保も入れない、締切は過ぎた等、何を言われても数回であきらめないことです。何にでも抜け道はあります。

また、福祉の方々は単に願っている対象ではなく、「動かす」位の意気込みがあった方がいいのではないのでしょうか。お役所といえども感情のある人間なのですから。

私のお世話になっている母子寮は極めて環境のいい所だと思えます。また地域によって施設数の多少で、入りやすさにも格差があると聞きます。ただ、例え狭く古い施設であっても、職員の方々の志の高さや優しさは、信じてみていいのではないかと思います。

子どもが20歳になるまで居られるそうですが、自分が元気になる

までの足がかり、生活が安定するまでの足がかりとして考えれば、母子寮は決して悪い選択肢ではないように思います。

何のあてもなく、東京という可能性の中でとことん戦い抜く覚悟で飛び出してきました。何の裏付けもない自分の自信に「大丈夫。できる!」とハッパをかけて、突き進んできました。

金なし、職なし、頼る人なし。この広い東京でないないづくしで始まる朝の目覚めは、もはや一歩も進めないような絶望感に襲われます。疲労困憊状態。そして、2か月経った今、やっと現状を受け止められるようになってきて、「戦わない自分」「弱い自分」「休む自分」も、許せるようになってきました。これからは日々を楽しみながら、ゆったりと力まず、自分のペースで今後を考えていきたいと思えます。母子寮という基地は確保してあるのですから。



ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わって

くるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと

思います。お便りをどうぞお寄せください。

■いろいろな悩んでいます

M・M (千葉・32歳)

実家に帰ってきて4か月ですが、父親が大反対で、離婚の話になると大喧嘩になってしまいます。

また顎関節症になり、治療しているのですが、歯の矯正もした方がよいと言われ、治療費がかかるので困っています。

家を出てアパートを借りたいのですが、親や親戚が「急ぐな」と、長野の親戚の家へ身を置くようにと言われたりします。

歯の治療や、離婚について相手と話し合うために、嫁ぎ先(関西)と行き来したりすることを考えると、千葉にいた方が連絡や交通の面で便利だし、子どもの保育所のことなど、安定した場所での生活のことなど、いろいろ考え悩んでいます。

■頑張らなくてはと思っています

H・S (神奈川・?歳)

平成9年6月に、家裁の調停が不成立に終わり、夫の申し立てた裁判が横浜地裁で始まりましたが、

裁判を進めていくうちに、夫に愛

人がいることが明らかになったため、急遽去年の10月に夫が裁判を取り下げ、何も決まらないまま終わりました。

裁判をするということで、私は弁護士を依頼しなければならず、法律扶助協会で弁護士費用を立て替えてもらい、毎月1万円(25回)、その上、裁判の結果が、夫側の意向が通らなかったため、私の勝訴だと言われ、成功報酬として更に毎月1万円(18回)払うことになりました。

相手からは何の金銭的な保証もないのに、どうしてこちらばかりが...という思いです。何も決まらないまま、別居という状態が続いています。現在、婚姻費用の分担請求をしようかと考えていますが、裁判の時、自営業の夫(社長)は給料が出ていないことになっていて、私の弁護士も「差し押さえるできません」と、何もして下されませんでした。

別居の時点で、夫の母に健康保

Q

夫は不動産業を営む会社を経営しており、私も役員(監査役)になっていますが、名目だけで実際には働いていません。役員に名前を入れることを承諾した時、夫は1か月に30万円払うと約束したのに、約束通り支払ってくれません。役員報酬は請求できますか。

会社は自宅(夫の所有名義)に本店登記をしていますが、実際には名目だけです。こんな場合に会社到家賃を請求できるのでしょうか。また、夫は銀行から借入をするために私に保証人になることを要求してきましたが、私が断ると自宅を売ると脅かしてきました。勝手に処分できないようにするには、どうしたらいいでしょうか。

A

株式会社の監査役の報酬については、会社の定款に額を定めていない場合は、株主総会の決議をもって決めるとされています(商法279条1項)。取締役の報酬も同様です(同269条)。ですから、夫が口頭で約束しただけでは、役員報酬を会社に請求することはできません。定款に額の定めがあるか、株式会社の決議がなされ

ているかを調べる必要があります。

役員の報酬を1か月の支給額で決めている場合は、1年間で消滅時効にかかります。ですから、仮に請求権があるとしたら、1年以内に時効の中断をしないと順次消滅します。時効の中断のためには、訴訟、差押等の裁判手続きをとることが必要です。

弁護士110番

また、自宅を登記上本店にしてあるとのことですが、実際に賃貸借契約を締結したり、使用していないとすれば、家賃を請求することはできないでしょう。また仮に家賃が発生するとしても、家主の請求権は夫にあるということになります。

夫が自宅を売却すると脅かしてくるそうですが、夫名義の家をこのままにしておくと、夫はあなたに無断で売却したり、銀行の担保に入れることも可能です。

処分できないようにするためには、仮差押の手続きがとれますが、離婚を前提にした財産分与や慰謝料等を保全する目的ですから、離婚調停や離婚訴訟を起こすという前提になります。

弁護士 段林和江

06-16364-0269

険の扶養を外され、私と子どもは
国保に加入せざるを得ず、厚生年
金は3種から1種になったため、年
間15万円近い保険料を払うよう通
知が届いてしまいました。先月免
除の申請をし、子どもの学校も就
学援助の申請をしました。

今、役所関係の機関でアルバイト
をしています、多くの収入は
得られず、夜も働きたいのですが、
思春期の子ともいるのでなかなか
思うようにはいきません。会報
を読み、皆さんの大変な中頑張っ
ていらっしゃる姿を励みに、私も
頑張らなくてはと思っています。
■足にヒビが入って休んでいます

K・S (大阪・?歳)
186号のK・Sです。次の職
もなかなか見つからず、嫌々な
ら会社へ通っていました、仕事
中に左足の親指にパレットを落
し、ヒビが入って休んでいます。

母子医療が使えるので、病院通
いはお金の面では心配なく通っ
ていますが、労災などは適用され
るのか、気になりながらもあまり上
司や社長と話をする気にもなれず、
とりあえずケガを治すことにし
ています。

心の中では、堂々と休める理由

ができて、これからのことを考え
る時間ができたようで、ホッとし
ているというのも変な話ですが、
とにかく、心身共に疲れ切った体
を休めて、ひたすら眠るといった
状況です。

小さな子どもを抱えての就職は
この不景気では風当たりが強い
がします。学校にしろ、保育園に
しろ行事が何かとあり、身動きが
とれなくなってしまう。母子
家庭が受けられる援助など、各地
方自治体の状況が比較できる資料
があればいいのと思っています。

■どう経済的に自立すればいいか

S・N (東京・32歳)
夫に追い出され、実家に子ども
と二人で世話になっています。兄
弟も同居しているため、所得制限
にひっかかり、児童扶養手当や医
療費の助成、職業訓練校の手当も
離婚しても出ません。

夫が会社に見栄を張り、健康保
険証を2部作らないので、現在は
手元に実物がありますが、後少し
で期限が切れてしまいます。どう
対処すればいいのか困っています。
夫はお金を払いたくないために、
親権を取ろうとしています。資格
や特技もない私が、今後どのよう

に経済的に自立し、独立し、子
どもを育てていけばいいのか。同じ
ような状況の方のお話を聞いてみ
たいと思います。

■ハンドで元気をもらいたい

T・T (大阪・38歳)
大阪の例会に出席して、大変勉
強になりました。心身共に疲労困
ぱいといった毎日を送っています
が、ハンドの会でたくさんの元氣
をもらえたと思っています。

お便り・お電話下さい

■佐世保近辺の方ご連絡下さい

T・S (長崎・37歳)
5歳と3歳の娘を連れて実家に
戻り、現在別居中です。離婚届を
夫に送り、出してもらった予定です。
公正証書は作成しました。

今から児童扶養手当を申請しよ
うと思っていますが、親と同居の
場合、親に年金でも収入があれば
手当が出ないと聞いたことがあり、
不安に思っています。私はメニ
エール病という持病があり、就職
に自信がありません。

近くにお友達が欲しいので、佐
世保近辺の方、お手紙お待ちして
います。

※匿名の方には表記事務局円より

子宛にお送り下さい。転送します。
■同じ立場の方お便り下さい

M・M (大阪・32歳)
現在、小学3年生と保育所に言
っている息子との3人暮らしです。
下の子は知的な面で障害があり、保
育所へ行っている間は、仕事がで
きますが、小学校へ行くようにな
ったら、下の子に合わせた生活で、
仕事が続けられるかどうか不安に
思っています。

同じような立場の方が身近にい
ないので、お手紙でいろいろお話
できたらと思います。よろしく
お願いします。

■情報交換や旅行をしませんか

藤井 (新宿・?歳)
離婚して10年。実家の隣の家で
12歳の息子と二人で生活していま
す。贅沢をしなければ自由に暮ら
せていますが、これからの生活を
考えると不安がつのります。

男の子をお持ちの東京の方、子
育てのことや仕事のこと、これか
らの人生設計のことなど、集まっ
て情報交換をしたり、小旅行など
をしてみませんか。ご連絡下さい。
■母子家庭に優しい町はどこ?

T・I (神奈川・?歳)
以前会報に載せて頂いたIです。

あの後調停が始まったものの、不成立に終わり、ただ今裁判中です。

「でこの悪い女に育てられた子ども達がかわいそうでならない」等々、子どもを思いやる優しい父親のフリをしている割に、この1年半の間、子どもにも私にも一銭のお金も払われていません。そのくせ自分は会社には秘密にして、扶養もしていないのに、私と子ども二人分の扶養手当や、税金の還付金もしっかり家族4人分受け取っているのは許せません。

こちらは離婚できないので一切の福祉も受けられず、朝の3時から働いて生活しているのに……

ところが今まで離婚を拒否していた夫が弁護士を立てて、離婚を条件とする和解を申し入れてきました。和解が不成立に終われば裁判続行ですが、これが会報にのる頃には結果は出ているはずで、無事離婚が成立したら、今住んでいるところを出て、できたら公営住宅に住みたいと考えています。

どなたか関東、関西問わず、「この町は母子家庭に優しく暮らしやすい」という所を紹介して下さいませんか。この1年半でつくづく感じたのは、地域によって福祉の

ばらつきがあるということです。ぜひご連絡下さい。

■真剣に離婚を考えています

M・S (福岡・?歳)

3年前、2人の子どもの引き取って離婚しました。この4月から大学生となった娘は家を出て、中学生1年生の息子と二人で生活しています。

現在、つき合っている男性がいます。1年前、心の通わない妻と冷え切った形だけの結婚生活を送っている彼と出会い、お互い真剣に離婚を考えるようになりました。彼の子ども(彼の妻と前夫との子)が後2年で高校を卒業したら、一緒に暮らそうと話していました。

ところが、私達の交際が彼の妻の知るところとなりました。彼は離婚の話し合いを進めようとしていますが、既に愛情は冷えているのに関わらず、絶対に離婚しない、私からも慰謝料を取ると、硬直状態です。おまけに、彼の職場の上司に訴え、彼は上司から厳重に注意を受け、こんなことを続けていると辞めてもらうというようなことでまて言われました。

今、彼は家裁の調停で話し合いを進めるべく、準備をしています。

私達のしていることは、どんなに純粋な愛情から出ている、世間からみれば「不倫」だし、彼と妻の間にさまざまな問題があったにせよ、彼は有責配偶者ということになります。

ハンドの皆さんの中には彼の妻のような立場の方、そうであった方もたくさんいらっしゃるでしょうし、こんな手紙をみれば反感もかうかと思いましたが、思いあまってお手紙を書いています。

結婚なんて2度とこめんだと、男性を信じられなくなってしまった私の気持ちを溶かしてくれた彼と、これからの人生を歩んでいきたいと思っています。

同じような経験をされた方、またそうでない方も、ぜひアドバイスをお願いします。連絡は手紙かEメールでお願いします。

■6歳の息子と二人暮らしです

(大阪・36歳)

昨年2月に離婚し、現在6歳の息子と二人暮らしです。昼間は自宅で内職をし、実家の父からの援助で生計を立てています。同じような立場で心の内を話せる方、お友達になって下さい。ご連絡お待ち

★ハンド・バックナンバー紹介

●元気印の女たち

いきいきとした素敵な女性たちへのインタビュー

第103号 小西綾さん(女性解放運動家・85歳)

第104号 金住典子さん(弁護士・47歳)

第105号 さん(ハンド大阪世話係・41歳)

第111号 野原容子さん(日本産業カウンセリングセンター理事)

第116号 さん(ハンド会員・不動産業)

第122号 さん(ハンド会員・30歳)

バックナンバー希望者は宛名を書いた返信用封筒(2部までは定型、3部以上はB5型)と80円切手(郵送分とコピー代1部80円)を同封の上、希望バックナンバーを明記して表記事務所までお送り下さい。

また悩んでいる友人に配りたい等、会報が余分に欲しい方もご連絡下さい。郵送します。地域の図書館、女性センター等にも会報や記念ハンドブックを置いてもらえるよう申し込んで下さい。



第213・214回 ニコニコ離婚講座

〔7月〕7月17日(土)午後1時～4時半。東京ウイメンズプラザ(青山子ども城裏)で。東海林路得子氏(女性の家HELPLEYディレクター)による「夫からの暴力と民間シェルターの支援活動について」。2部は金住典子弁護士との「離婚の法律と手続き」。

〔8月〕8月21日(土)午後1時～4時半。東京ウイメンズプラザで。安達優雅子(電話相談員)による「子どもからの相談—子どもの置かれている状況について—」。

いずれも参加費2000円。

お問合せは事務所向井、橋本まで。

☎03-3261-1835
FAX03-3261-1836

★東京の会合

▼7月17日(土)午後6時～9時、東京ウイメンズプラザ視聴覚室C

で行います。

▼9月3日(金)午後6時半～8時半、麹町の円より子宅で。テーマ「別れた親との面接交渉と養育費について」。参加費10000円(夕食付)。表記事務所橋本までお申し込み下さい。

大阪のニコニコ離婚講座

〔7月〕7月17日(土)、午後1時半～4時半、ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)で。林巧氏(女のかけこみ寺生野学園長)による、家庭内暴力の現状や自立に向けての相談活動についてのお話。

〔8月〕会場の都合でお休みです。

〔9月〕9月18日(土)、午後1時半～4時半、ドーンセンターで。和泉育子氏(エニアグラム講師)の「夫婦・親子関係の隙間を考える」。

いずれも参加費1500円。

竹川法律事務所

☎06-6393-1331

★大阪の会合

7月24日(土)午後1時半～4時半、竹川幸子法律事務所で。

☎06-6393-1331

★埼玉の会合

▼8月1日(日)午前11時～「ハイハート」で暑気払いを。会費

2000円位。東武東上線朝霞台駅改札前に集合。食べて唄って楽しみましょう。

▼8月29日(日)、宅で、ハンド188号の発送を。都合のつく方お手伝いお願いします。いずれも詳細は まで。

☆離婚一〇番

日時、番号をよく確認して下さい。

〔電話番号〕

☎03(3261)1835

☎03(3261)1836

〔日時〕※時間が長くなりました。

▼第1、第3、第5土曜日の午後4時～8時▼第2、第4土曜日の午後2時～6時

★購読料について

次の3通りの方法があります。

①1年間3600円(送料共)

②2年間まとめて前払いの場合、7200円を6000円に。

③出社払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつても遠慮なく申し出て下さい。

期限切れの通知の入った時に、お振りこみ下さい。

(振込先)各地の郵便局にて

00140-61120542

ハンド・イン・ハンドの会

00140-61120542

ハンド・イン・ハンドの会

★事務局分室ができました

現代家族問題研究所の分室が新しくできました。毎週土曜日の電話相談も、こちらで行っています。ハンドや離婚講座等についてのお問合せやお手紙は、左記の分室をお願いします。

〒102-0082千代田区一番町4-6 一番町中央ビル2F

☎03-3261-1835

FAX03-3261-1836

■事務局便り■

★静かな分室に電話のベルが鳴る。ここ数日電話カウンセラー養成講座への問い合わせにうれしい悲鳴を上げています。(荒木)

★電話だけでなく、電子メール、ファックス、インターネットなどを「盗聴」できる通信傍受法案が、組織犯罪を取り締まるという名のもとに成立しそう。

通信の秘密を侵す危険だけでなく、インターネットを使用している世界制覇も可能なこんな恐ろしい法案は通してはならず、私は法務委員会の理事をして連日、賛成派との攻防を必死で繰り返しています。

(円)